

第2号様式（第3関係）

平成21年度第2回豊山町生涯学習推進審議会会議録

- 1 開催日時 平成21年12月21日（月）午前10時から
- 2 開催場所 豊山町役場 2階 会議室1
- 3 出席者 豊山町生涯学習推進審議会委員
（役職及び氏名） 会長：領木國雄、
委員：岡田洋司、山本達三、西川 徹、高柳勝子、宮沢洋子
石黒俊彦、岡島 剛、太田明雄、岡島千衣子、安藤証一
（欠席） 山村ノリ
事務局：松田康朗教育長、早川晴男教育部長、柴田昌治課長、
佐藤正司係長、辛嶋洋充生涯学習指導員
- 4 議題 (1) 生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画（案）について
(2) その他
- 5 会議資料 ・生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画（案） 資料
・平成21年度生涯学習学級・講座受講状況について 参考資料NO.1
- 6 議事内容
(司 会) 本日は、お忙しい中、定刻までにご参集いただきありがとうございます。ただ今から第2回生涯学習推進審議会を開催します。
—配布資料の確認—
それでは、最初に会長よりあいさつをいただきます。
(会 長) 本日は、年末のお忙しい中、また寒い中、ご出席いただきましてありがとうございます。
いよいよ今年も残すところ、後わずかとなりました。経済情勢は少し回復の兆しが見えてきたとはいえ、相変わらず多くの会社が倒産するなど厳しい状況が続いています。政局も民主党に変わりましたが、未だにしっかりとはいかず混迷しております。
こんな時代だからこそ、私は心の癒しを大切に、生涯学習の中で育んでいきたいと思えます。大変な世の中をしっかりと生き抜き、町民の皆さんが生きがいをもって生活をおくっていただけるよう頑張りたいと思えます。

本日は、皆さま方の活発なご意見をいただき、身のある会議にしたと思いますのでよろしくお願いいたします。

(司 会) 次に、教育長よりあいさつを申し上げます。

(教育長) 本日は、寒さの厳しい中、また、年の瀬のご多用の中、ご出席いただきありがとうございます。

本日の審議会は、生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画の改訂に向けてご意見を頂戴することが主なねらいとなっています。

現在、平成10年3月に策定しました「基本構想・計画」をもとに改訂作業を進めておりますが、少なからず感ずるところがありました。

一つは、先輩諸氏が手がけられた先回のものには、生涯学習のまちづくりをめざす強い意気込みがこめられています。組織的にも階層的な組織建てが大がかりに取り組み「自ら学び、分かち合う、生きがいタウンとよやま」という明快なテーマを設定しています。町民の学習活動やライフスタイルに応えようとするエネルギーが伝わってくる気がします。

二つは、この10年間で時代が大きく変化したことです。新たに要請するものが生まれ、行政として計画通り対応できる分野もあれば、足らざるもの、道半ばの分野も数多くあることにも気づきました。

そのようなことから、今回の策定作業は、やや小振りの改訂を想定していましたが、いざ始めてみると決して簡単ではなく、現在はもちろん未来を指向した理念を付け加えて「壁」を塗り替えていくことが必要であると感じています。

7月の審議会の折りには「町民意識調査」について論議いただき、現在の進捗状況は、山に例えれば5、6合目というところです。皆さんからご意見をお聞き下の後、役場内の策定会議、推進会議を開き、さらに検討を重ねていきたいと考えています。

いずれにしても、事務局の素案を外に出すのはこれが初めてなので、忌憚のないご意見を頂戴することをお願いし、あいさつとさせていただきます。

(司 会) それでは、これより議題の審議に入ります。ここからの取り回しは会長をお願いします。

(会 長) 議案(1)「生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画(案)について」事務局より説明をお願いします。

～生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画(案)について～
資料により説明。

(会 長) 事務局の説明が終わりました。今の説明について何かご質問、ご意見はありますか。

(委 員) P15の⑤の「障害」という表記ですが、最近「障がい」と「がい」をひらがなにすることが一般的だと思います。

(事務局) 町の第4次総合計画や福祉関係の計画などを調査し、統一した表記とします。

(委員) 非常に幅広い視点から構成されており、よく考えられていると思います。しかし、あまり「生涯学習」という言葉は使わないほうがよいと思います。ほかに言い方があれば変えた方がいいと思います。

また、ボランティアやまちづくりまで統括することは、学習の領域からはみ出しており、生涯学習という言葉が足を引っ張る場合があります。ほとんどの町民は学習しているだけ、スポーツしているだけの意識しかないと思います。むしろ「学習」を基準に考え、施策1に重点を絞り込んだほうがよいのではないのでしょうか。

アンケート調査の結果をみても、生涯学習とはどういうものかをよく理解していない町民がたくさん見受けられます。学習に関係ない分野が入っていることで、余計に分かりにくくしているのではないのでしょうか。生涯学習を分かっているのは行政側だけ、町民に浸透していないのが現実です。行政側は、より分かりやすい方法で町民に知らせるかを考えなければいけないと思います。

(事務局) この構想の策定に際して、アンケート調査の結果にもあった「学ぶ」という部分を重視し、全体の6割から7割のウエイトを置きました。新構想においても広義な意味で生涯学習を捉えておりますが、実際10年の経験の中で、目標設定が高すぎて到達できなかった分野、今後も達成できそうにない分野についてはトーンダウンしています。

「生涯学習」に変わる言葉については、今、現在は見つかっておりません。何かよい言葉があれば教えていただきたいと思います。

(委員) 残念ながら「生涯学習」に変わる言葉は私も存じあげません。生涯学習を体系的に考えることは、構想の理念としては理解できますが、ボランティアやレクリエーションなどを学習と同じ比率で扱うことが生涯学習を分かりにくいものにしていていると思います。

(委員) 私は、生涯学習という言葉はそれでいいと思います。町民に浸透していないというならば、もっと説明をすればいいと思います。

アンケート調査の結果をみても、住民ニーズは顕著に表れています。学習活動の必要性は認めているが行動につながらない理由は「時間が無い」が一番です。テレビを見てゴロゴロする時間はあっても、活動をしようとするまでに至っていないので行動に移せないのだと思います。生涯学習を啓蒙していくことが、ソーシャルマーケティングであります。

スポーツ教室で例えれば、男性は夜間や休日の希望が多い、女性は昼間や平日の希望が多いなど、時間や場所の提供の仕方を工夫して、ニーズとのギャップを埋めていく努力が必要となります。

また、魅力的な教室や施設があるかどうかも重要です。参考までに話しをすると、先日訪問したドイツでは、国内のあちらこちらに素晴らしい運動施設と環境がありました。12面もある芝生のグラウンドでは、プロの選手と子どもたちが楽しいようにサッカーを楽しんでいました。

国の事情がありますので、そのまま日本にあてはまりませんが、運動をやりたくなる環境をつくることも重要だと思います。

施設の場所や利用方法は、どのように周知していますか。バスケットであれば、どこでいつやれるかをどのように知ることができますか。

(事務局) ドイツとは環境や考え方がまったく異なりますので、そのまま我が国に取り入れることは難しいと考えます。できる範囲で啓発活動や施設の有効活用などに努め、生涯学習を推進していきたいと思えます。

施設や利用方法の周知については、社会教育センターを総合窓口として行っており、そういった問合せや要望にお応えしています。また、施設管理ネットワークシステムの活用によりパソコンからの空状況等の照会ができます。

(委員) 生涯学習のボランティアと福祉関係のボランティアはどのような関係になるのでしょうか。

(事務局) ボランティアというと福祉のイメージが強いのですが、生涯学習の中でめざすものは福祉に限定したものでなく、町全体としてボランティア意識を高めることにあります。あらゆる学習活動を通して町民のボランティアへの参加を促し、まちづくりへの参画につなげていきたいと思えます。

(委員) 子ども会のどろんこ教室で小学生に陶芸を教えています。付き添いで来ている大人もやりたくなることがあり、そのときに「一緒にやりませんか」と声をかけたり、背中を押してあげることが生涯学習の広がりにつながると思えます。また、環境問題のサークルにも係わっていて、仲間とともに語り合いながら、活動の輪を広げています。新構想の中でサークル活動の活性化について、触れられていて嬉しく思えます。今まで、表にでる機会が少なかったサークルは、情報提供、交流や発表の場の創設などによって、もっともっと活性化すると思えます。

(事務局) 今回の基本構想の柱の一つとして、サークル活動活性化を掲げています。本町には、文化協会や体育協会などの大きな組織に所属していないサークルがたくさんあり、その実態は正確に把握できていません。社会教育センターのほか供用施設などで活動しているサークルの実態調査を行い、一括して情報を提供することにより、サークル活動の広がり、様々な交流を生み、発表する場を提供することにより活動は活性化していきます。新構想の柱として、まずできることから取り組んでいきたいと思えます。

(委員) 芝のグラウンドは、怪我をしにくいので土ではできない思い切ったプレーができますし、スライディングなどの技術向上も期待できます。大会などを開催すれば、それをきっかけにその種目が発展することもあります。サッカーくじや校庭を芝生化する補助金などを活用されてはいかがでしょうか。また、ドイツは「スポーツクラブ」が盛んで、大人から子どもまで多くの人が様々なスポーツを楽しんでいます。日本では子ども

の体力低下が問題化していますので、こういった体験が改善のきっかけになるのではないのでしょうか。

(事務局) 芝生化のお話については、確かに実現すれば効果は期待できると思いますが、現実には多くの問題があります。例えば、志水ふれあいひろばは、当初、芝生をひきましたが、いたづらをされたり管理面での苦勞が多く、現在は捲ってしまいました。また、校庭の芝生化については、全国的には導入しているところもありますが、政権交代もあり今後の動向が不透明でありますので様子を見ていきたいと思ひます。

(会 長) 他に、質問やご意見はありますか。

何もなければ第1号議案「生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画(案)について」をご承認いただける方は拍手をお願いします。

(拍手)

(会 長) 第1号議案「生涯学習のまちづくり基本構想・基本計画(案)について」は全員の拍手で承認されました。

続きまして、「その他」ですが事務局から何かありますか。

(事務局) 1点お願いします。「平成21年度生涯学習学級・講座受講状況について」中間報告をさせていただきます。

～平成21年度生涯学習学級・講座受講状況について～

参考資料NO.1より報告

(会 長) 事務局の報告が終わりました。何かご質問やご意見はありますか。

(質問、意見なし)

(会 長) 皆様のご協力により、本日の議題は全て終了しました。熱心な論議と貴重なご意見をいただき実のある会議になったことに感謝申し上げます。本日はお疲れさまでした。

上記のとおり平成21年度第2回豊山町生涯学習推進審議会の議事の経過及びその結果を明確にするためにこの会議録を作成し、会長及び出席者1人が署名する。

平成22年1月5日

会 長 領 木 國 雄

署名人 宮 沢 洋 子